

令和6年度 厚木清南高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	○高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶、服務規律徹底	「STOP！ザ・セクハラ/わいせつな行為」「コンプライアンス意識の醸成」「服務規律の遵守」の点検資料を用いて、セルフチェックを行い、法令遵守、服務規律の再確認・徹底を図った。目標はおおむねに達成できた。
職場のハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の防止	○パワハラ・セクハラ・マタハラ行為等を未然に防止する	「職場のハラスメントの防止」の点検資料を用いて、セルフチェックを行ない、ハラスメントに関して適切な見識の再確認を図った。目標は十分に達成できた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	○当事者意識をもち、生徒へのわいせつ・セクハラ行為等が起こらないようにする	「Stop！ザ・セクハラ/わいせつな行為」の点検資料を使用してセルフチェックを行うとともに、7月に外部講師による三課程合同の人権研修会においても学校全体で取り組むクライシスカウンセリングなどを学び、目標はおおむねに達成できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	○入学者選抜、成績処理、進路関係書類等作成及び取扱いに係る不祥事を防止する	「入学者選抜の事故防止」の点検資料を使用して、セルフチェックを行った。また、入選資料の読み合わせを入念に行い、事故防止の徹底を図った。目標は十分に達成できた。
体罰・不適切指導の防止	○当事者意識をもち、生徒の人権に配慮し、体罰、不適切な指導が起こらないようにする	「体罰、不適切な指導の防止」の点検資料を用いて、セルフチェックを行った。併せて、職員を講師として、体罰、不適切な指導に関して適切な見識の再確認を図った。目標は十分に達成できた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ	○情報セキュリティ対策の確認を定期的に実施し、個人情報流出を未然に防止する	「個人情報の適切な取扱い、情報セキュリティ」「児童生徒の個人情報の取扱い」の点検資料を用いて、セルフチェックを行った。合わせて、職員を講師として、情報セキュリティポリシーに関して適切な見識の再確認を図った。目標は十分に達成できた。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	○業務執行体制を整え、不祥事を防止する ○情報の発送時、配付時の複数人でのチェックを行う	「服務規律の遵守」、「定期試験・成績処理の事故防止」の点検資料を用いて、セルフチェックを行った。また「学校における生徒指導、支援について」の資料に基づき対生徒指導の支援についての共有をはかり、目標は十分に達成できた。また衛生委員会で業務改善アンケートを実施し、働きやすい職場づくりをすすめた。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

学校経営の重点事項として、多様性や人権の尊重、互いを尊重した働きやすい職場づくりを掲げている。しかし人権意識の向上という面ではなお取組が必要であると思われる場面もあり、今後も課題と考えて取り組んでいく。生徒の人権意識を高めるためにはまず教員が人権感覚を磨き、日頃から人権に配慮した行動や発言をしていくことが肝要であり、引き続き呼び

かけていく必要があると考える。

わいせつ、セクハラ行為の防止については、校長が職員会議等で懲戒処分指針の改正や教職員倫理指針の趣旨を説明するほか、不祥事防止研修で生徒とのSNSの禁止等のルールの徹底を確認するなど、わいせつ事案根絶への意識を高めた。

入学者選抜については、3課程それぞれで多種多様な選抜が実施されているが、過去の事故事例や、事故の起こりやすいパターンの想定などについて共有し、適切な運用に努めた。生徒の一生に関わる重要な業務であり、過ちは許されないという認識を引き続き教職員間で共有しながら業務に臨むよう呼び掛けた。

業務の効率化については、服務手続きの電子化やインターネットバンキング、欠席連絡のオンライン化等の導入などにより、一定の前進があった。また、衛生委員会を中心として「働きやすい職場づくり」に取り組み、アンケートの実施とそれを受けた環境整備等で今後も業務の進め方については常に見直しを行い、場合によっては整理統合を行い、教員が本来業務に専念できる時間を増やすことによる教育活動の充実につなげていきたい。

開校から20周年を迎えた本校では、当初からの「柔軟な学びのシステムの活用により、多様な生徒を支援する」という理念を継承し、引き続き多様性や人権の尊重に取り組む。令和6年度から4年間の学校教育計画においても、「誰もが自分らしく過ごせる安心・安全な学習環境を実現する」を掲げ、多様性や人権を尊重し、生徒を支援する体制を整えていくこととしている。併せて、働き方改革を進め、教育活動の充実につなげていくことなども掲げた。こうした目標を職員間で共有し、その実現と併せて不祥事のない組織づくりにもつなげていきたい。

次年度に向けた重点項目は、

- ① セクハラ等不適切な指導事案根絶への取組の継続(神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針についての共通理解)
- ② 個人情報の適正な管理(個人情報の漏洩防止や適正な取扱いの徹底)
- ③ 事務執行体制の更なる確保(働き方改革推進による生徒支援の充実)の3点について取り組み、推進強化を図りたい。